**食に関する指導の全体計画**

**児童の実態**

・朝食を毎日食べる児童○％

・1人で朝食を食べる児童○％

・肥満傾向の児童○％

・給食残食率平均○％

・食生活や生活習慣を考えて生活した児童○％

**学校教育目標**

**学ぶ意欲と豊かな心をもち，**

**心身共に健康でたくましい児童の育成**

**食育の視点**

○食事の重要性

○心身の健康

○食品を選択する能力

○感謝の心

○社会性

○食文化

**食に関する指導の目標**

**（知識及び技能）**

　正しい食についての知識やマナーを理解し，基本的食習慣を身に付けている。

**（思考力，判断力，表現力等）**

自分の健康について考え，栄養バランスを考えて自分で食品を選び食べることができる。

**（学びに向かう力，人間性等）**

 楽しい食事を通して，好き嫌いの克服を実現したり，生命や食に携わる人に感謝しようとしたりする

態度を身に付けている。

**関係法規等**

【第4次食育推進基本計画】

・朝食を欠食する子　０％

・家族と一緒に食べる「共食」週11回以上

【第４期岩手県食育推進計画】

・朝食を毎日食べる小４の割合100％

・肥満傾向のある割合　11.41％

【第3期○○市食育推進行動計画】

・主食・主菜・副菜を揃えて食べている人の割合○％

|  |
| --- |
| **各学年の食に関する指導の目標** |
| **１，２年** | **３．４年** | **５，６年** |
| ・食べ物に興味・関心を持ち，みんなと楽しく食べることができる。・苦手な食べ物も食べる必要があることが分かり，よく噛んで落ち着いて食べることができる。・食べ物を大事にするとともに，心を込めて食事のあいさつをすることができる。 | ・1日３食規則正しく食事をとり，生活のリズムをととのえることの大切さが分かる。・健康に過ごすためには食事が大切であることが分かり，好き嫌いせず食べようとすることができる。・食事は多くの人々の努力により作られていることが分かり，感謝の気持ちを持って食べることができる。 | ・楽しく食事することが，人と人とのつながりを深め，豊かな食生活につながることが分かる。・栄養のバランスのとれた食事の大切さが分かり，好き嫌いせずに食べることができる。・食事に関わる多くの人々や自然の恵みに，感謝の気持ちを持って食べることができる。 |

**幼稚園・保育所**

**食育目標**

「食を営む力」の育成にむけ，その基礎を培うために，たのしく食べる子供たちの育成を目指す。

**食育推進の評価**

・活動指標：食に関する指導が計画通りに実施できたか。地場産物利用品目数40％以上の活用と，郷土料理提供年２４回以上できたか。

・成果指標：児童の実態　朝食を毎日食べる児童の増加97％→○○％



**家庭・地域との連携**

・給食だより，学校ホームページ，学校Twitterによる情報発信

・学校給食試食会，教育委員給食試食会，○○市学校保健会，学校保健委員会，○○市広報誌，地元新聞社，学校運営協議会

**食育推進組織（校内食育推進委員会）**

委員長：校長（副委員長：副校長）

委員：主幹教諭・教務主任・保健主事・養護教諭・栄養教諭・給食主任・体育主任・PTA会長・PTA役員・学校医・学校歯科医・学校薬剤師

**食に関する指導**

○教科等における食に関する指導：関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導する。

国語，社会，理科，家庭，生活，体育，道徳，総合的な学習の時間，特別活動等

○給食の時間における食に関する指導：食に関する指導・・・献立を通して学習，教科等で学習したことを確認

　　　　　　　　　　　　　　　　　　給食指導・・・準備から片付けまで一連の指導の中で習得

○個別的な相談指導：食物アレルギー・疾患・肥満・やせ傾向・偏食・スポーツ栄養等

　（入学・進級前食物アレルギー調査・相談，中学校引継ぎ，食物アレルギー対応食実施，偏食相談と対応）

**食育推進の評価**

・活動指標：食に関する指導が計画通りに実施できたか。地場産物利用品目数40％以上の活用と，郷土料理提供年２４回以上できたか。

・成果指標：児童の実態　朝食を毎日食べる児童の増加97％→○○％

**地場産物の活用**

・給食における地場産物積極的活用と，校内放送や栄養メモ，学校Twitterを活用した地場産物についての情報の発信

・りんご農家訪問，農家の方の講話

・地元米の給食活用→地元農家からの寄贈米式典と広報や新聞への掲載

・○○市学校栄養士会における物資選定

**中学校・食の指導目標**

食事を通して好ましい人間関係を築き，自分の健康を考えて正しい食事のとり方ができる生徒を育てる。